

第6学年 外国語科学習指導案

指導者 佐藤 岳人

ALT Adrian Angub

1 単元名

What do you want to be? ～アメリカの中学生と、将来の夢を語り合おう～

(Here We Go! 6 Unit8)

2 単元について

○教材観

本単元では、「What do you want to be?」や「I want to be a～.」の表現を用いて、どんな職業に興味をもっているのか、どの職業に就きたいと思っているのかを伝え合う。小学校生活が終わりに近づくこの時期に、就きたい職業や夢を持ち、自分の将来について考えることは、重要である。そして、将来の夢を実現させるために、今必要なことやこれからやるべきことについて考える機会を持つ意味でも大切なことだと考える。さらに、既習事項である「I like ～.」や「I want to play/help/study～.」「I can～.」「I'm good at～.」「It's～.」などの表現も使い、その職業に就きたい理由について、自分の考えや気持ちを伝える活動、話した内容を書く活動に取り組む。

また、本単元のゴールとして、韮崎市の姉妹都市であるアメリカのフェアフィールド市の中学生と将来の夢について伝え合う。本校では今年度、第5学年の児童がフェアフィールド市の中学生との交流会を実施した。お互いの市の特徴、さらには学校生活の様子について伝え合い、その中で多くの質問や意見が飛び交い、大変実りある交流会となった。今回は第6学年の児童が将来の夢について伝え合う機会を設けた。児童にとって、本単元の学習や交流会を通し、アメリカの中学生はどんな夢を持っているのか、日本とは違った職業や価値観があるのかなど、グローバルな視点に立って将来について考えることができるよい機会になるであろう。そして、他国の同年代の人たちと将来の夢について伝え合う場面を設定することで、児童が相手意識や目的意識をしっかりと持ち、学習活動に必然性が生まれ、自ら「伝えたい」という思いが高まると期待できる。

○児童観

本学級は、29名の学級である。やり取りなどの場面では、自ら進んで指導者やALT、友達と関わり、ジェスチャーをつけて会話を楽しんでいる児童が多い。毎時間、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が多く見られる学級である。

外国語科に関する意識調査（7月）によると、友達と英語を使って会話をするとき、「感想・同意・確認・反復」や「声の大きさ・ジェスチャー・目線・速度」など、話す際のポイントや相手に対しての反応についての質問項目は、約92%の児童が肯定的な回答をしており、やり取りの際に必要なことを身に付けている児童が多いことがうかがえる。

一方で、やり取りの場面で「自分なりの情報を加えて話すことができますか」という質問に対しては、約18%の児童が、「あまりそう思わない」もしくは「思わない」という回答をしている。そのため、本単元の学習を含め、自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、より具体的に詳しく質問したり答えたりするための指導を大切に、授業を仕組んでいく必要があると感じている。

また、真面目で意欲的に取り組む児童が多い反面、「全てを聞き取らなければならない」「全て正しく表現しなければならない」というような気持ちが強く、途中で自分の思いや考えを伝えることを諦めてしまう児童も数名見受けられる。そこで、学級担任は朝学習などを活用し英語に慣れ親しませるために Small Talk に取り組んでいる。この活動を継続的に行い、自

分も友達も、お互いに間違いや失敗を温かく認め、楽しみながら英語を使って話す雰囲気づくりにつなげていきたい。

○指導観

本単元では、「アメリカの中学生と将来の夢について伝え合おう」というゴールに向けて、児童が既習事項の表現を使い、その場に応じて質問したり、質問に答えたりしながら、やり取りをする力を育成していきたいと考える。教科書では、本単元は「話すこと（発表）」を中心とした単元であるが、本校が昨年度より指定を受けている「英語教育改善プラン推進事業」の趣旨を受けた実践及び、児童の実態を踏まえ、「話すこと（やり取り）」を中心領域として指導していきたいと考えた。

そのために、最高学年となった4月から、毎時間ペアでやり取りをする活動を設定し、既習事項を生かしてやり取りを繰り返す中で、自分の考えや気持ちを伝えられるようにしてきた。また、相手とのやり取りの際、その場の状況や発言内容によって、同調したり、繰り返したり、質問したりすることを意識しながら聞くこともその都度指導してきた。

さらに、児童が自分の気持ちや考えを伝えることができるように、一言感想や質問する際の表現の言い方など、児童のやり取りに便利な表現を、教室の児童の目の届くところに掲示し、授業以外の場面でも児童が「使ってみよう」と思うような工夫をしている。やり取りの中で、将来の夢について伝える際に適した表現を繰り返し使わせて、表現に慣れ親しませることを通して、ゴールへのやり取りへとつなげていく。

本時では、前時までに蓄積してきた語彙や表現をもとに、自分の考えや気持ちを伝え合う活動に取り組む。その際、聞き手にわかりやすく伝えるためにはどのようなことが必要なのかを考えさせる。そして、相手に配慮しながらお互いに間違いや失敗も温かく受け入れ、伝え合うことができるようにしていく。**Small Talk** で何度も友達と会話をしながら既習事項の定着を図り、言いたいけれど言えない表現を児童同士で考え、教え合う経験を多く積むことで、友達と関わり合いながら、安心して学習に取り組める雰囲気づくりをしていくようにしたい。また、ペアやグループでのやり取りの場面では、指導者がやり取りのモデルを十分に示し、話す内容だけではなく、話し方や反応、表情なども含めたコミュニケーションの大切さも伝えていきたい。

児童が毎時間記入する振り返りシートは、児童自身がその時間を自己評価し、指導者からのコメントを受け取ることで、児童の学習に対する意欲を向上させるものである。児童が指導者からのコメントを読み、次時の学習への糧となるシートとして活用していきたい。また、指導者側にとっても、毎時間の児童の思いや考えを知ること、次時への授業改善へとつなげていくことができる。

外国語科の授業では、指導者と児童で共有できるルーブリックも活用している。事前に児童へ評価方法や評価基準を伝えることで、児童自身が目指すべき姿を意識しながら学習活動に取り組むことができると考える。

3 「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標（第6学年）

話すこと[やり取り]	書くこと
自分や相手のこと、身の回りの物等について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、その場で関連する質問をしたり質問に答えたりして、短い会話をするができる。	自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。

関係する領域別目標：話すこと [やり取り] ウ、書くことイ

4 単元の目標

自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、将来の夢について自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。また、自分の将来の夢について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書くことができる。

5 言語材料

○表現 What do you want to be? Why? How about you? Good luck. Go for it.
I like... I want to play/help/study... I can... I'm good at...
Do you like~? What ~ do you like? Can you~? Where? When? Who?

○語彙 職業、身の回りのもの、教科、スポーツ、食べ物、動物、国名

6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [やり取り]	<p><知識> 職業の語句や, I want to be~. の表現について理解している。</p> <p><技能> 自分の将来の夢や就きたい職業などについて, 自分の考えや気持ちなどを伝え合うために必要な技能を身に付けている。</p>	<p>自分のことをよく知ってもらったり, 相手のことをよく知ったりするために, 自分の将来の夢や就きたい職業などについて考えや気持ちなどを簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問したり, 質問に答えたりして伝え合っている。</p>	<p>自分のことをよく知ってもらったり, 相手のことをよく知ったりするために, 自分の将来の夢や就きたい職業などについて考えや気持ちなどを簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問したり, 質問に答えたりして伝え合おうとしている。</p>
書くこと	<p><知識> 職業の語句や, I want to be~. の表現について理解している。</p> <p><技能> 自分の将来の夢や就きたい職業など, 書く技能を身に付けている。</p>	<p>自分の将来の夢や就きたい職業について, 相手に伝わるように, 自分の考えや気持ちなどを書いている。</p>	<p>(本単元の評価規準は, 「自分の将来の夢や就きたい職業について, 相手に伝わるように, 自分の考えや気持ちなどを書こうとしている。」となるが, 次単元と合わせて記録に残す評価を行う。)</p>

7 単元の指導と評価の計画（全8時間）

時	目標（◆） 主な活動（○） アクティビティ（・）誌面化されている活動（【 】）	評 価			
		知 技	思 判 表	態 度	
1	<p>◆職業の言い方を知る。</p> <p>○Greeting ・挨拶, 調子, 天気, 曜日, 日にちを確認する。</p> <p>○Small Talk ・指導者の仕事内容について, 提示する写真を見ながら話を聞く。 ・Today's topic についてペアで話す。 「What do you enjoy at school?」</p> <p>○本単元の見通しをもつ。 ・本単元のゴールが「アメリカのフェアフィールド市の中学生と将来の夢について伝え合おう」であることを知る。</p> <p>○【Story】 p94-95 ・アニメーション映像を見る。 ・再度映像を見ながら, 内容を確認する。 (場面, 人物, 語彙)</p> <p>○Vocabulary ・職業の言い方について指導者とのやり取りを通して知る。 ・興味のある職業を伝え合う。</p> <p>○Missing Game ・黒板に掲示された職業ピクチャーカードを見ながら言い方を確認し, その中から指導者が数枚取り除いたカードを当てる。</p> <p>○Reflection ・学習内容を振り返り, 振り返りシートに記入する。</p>				<p>◎評価規準〈評価方法〉 ◎記録に残す評価 ○指導に生かす評価</p> <p>★本時では, 目標に向けて指導は行うが, 記録に残す評価は行わない。</p>
2	<p>◆将来の夢について, 尋ねたり答えたりする表現を知る。</p> <p>○Greeting ・挨拶, 調子, 天気, 曜日, 日にちを確認する。</p> <p>○Small Talk ・指導者が好きな教科について, 提示する写真を見ながら話を聞く。 ・Today's topic についてペアで話す。 「What subject do you like?」</p> <p>○Vocabulary ・職業の言い方について指導者とのやり取りを通して確認する。 ・興味のある職業を伝え合う。</p> <p>○【Let's watch】 p96 ・結衣が将来なりたいものについての話を聞いて, 内容に合う絵に丸を付ける。</p>				<p>★本時では, 目標に向けて指導は行うが, 記録に残す評価は行わない。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ○【Let's listen】 p96 <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの人物が何になりたいと言っているのかを聞いて、人物と職業を線で結ぶ。 ○【Let's chant】 p96 <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを練習する。 「What do you want to be?」 ○【Let's play】 p97 <ul style="list-style-type: none"> ・職業カードを1枚引き、ジェスチャーのみでどの職業を表しているのかを伝える。 ・全員で「What do you want to be?」と尋ね、代表の児童が「I want to be a...」まで答え、職業は言わずに、ジェスチャーで表す。 ○Reflection <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を振り返り、振り返りシートに記入する。 	や		<ul style="list-style-type: none"> ○「I want to be a～.」の表現を使って自分が引いたカードの職業を表し、伝えている。 <p style="text-align: center;">〈行動観察・振り返りシート記述点検〉</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ◆将来の夢について、尋ねたり答えたりする。 ○Greeting <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶, 調子, 天気, 曜日, 日にちを確認する。 ○Small Talk <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が勉強していることについて、提示する写真を見ながら話を聞く。 ・Today's topic についてペアで話す。 「What do you want to study?」 ○Vocabulary <ul style="list-style-type: none"> ・職業の言い方について指導者とのやり取りを通して確認する。 ・興味のある職業を伝え合う。 ○【Let's chant】 p96 <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを練習する。 「What do you want to be?」 ○【Let's try】 p97 <ul style="list-style-type: none"> ・将来やってみたい職業をピクチャーカードから選び、「What do you want to be?」や「I want to be...」の表現を使ってやり取りをする。 ・やり取りを通して気付いたことをクラス全体で共有する。 ○Reflection <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を振り返り、振り返りシートに記入する。 	や		<ul style="list-style-type: none"> ◎将来やってみたい職業について伝え合っている。 <p style="text-align: center;">〈行動観察・振り返りシート記述点検〉</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ◆将来の夢とその理由を伝える言い方を知る。 ○Greeting <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶, 調子, 天気, 曜日, 日にちを確認する。 ○Small Talk <ul style="list-style-type: none"> ・指導者ができることについて、提示する写真を見ながら話を聞く。 			

	<ul style="list-style-type: none"> ・ Today's topic についてペアで話す。 「Can you～?」 ○ Vocabulary <ul style="list-style-type: none"> ・ 職業の言い方を指導者とのやり取りを通して確認する。 ・ 興味のある職業を伝え合う。 ○ 【Let's watch】 p98 <ul style="list-style-type: none"> ・ かずきがロボットクリエイターになりたい理由を聞いてわかったことを書く。 ○ 【Let's listen】 p98 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人留学生がなりたい職業を線で結び、その理由を書く。 ○ 【Let's chant】 p98 <ul style="list-style-type: none"> ・ チャンツを練習する。 「I want to be a zookeeper.」 ○ 【Let's play】 p99 <ul style="list-style-type: none"> ・ 代表児童が職業カードを一枚引き、「I want to be a...」のあとはロパクで言う。 ・ 児童は「Why?」と尋ねる。 ・ 代表児童はカードの職業になりたい理由を伝え、児童はその職業を当てる。 ○ Reflection <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容を振り返り、振り返りシートに記入する。 		や	や	<p>◎カードの職業になりたい理由を聞いて、どの職業なのかを考え伝え合っている。 〈行動観察・振り返りシート記述点検〉</p>
5 本 時	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 将来の夢について自分の考えや気持ちを伝え合う。 ○ Greeting <ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶、調子、天気、曜日、日にちを確認する。 ○ Small Talk <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導者の週末したいことについて、話を聞く。 ・ Today's topic についてペアで話す。 「What do you want to do on the weekend?」 ○ Let's talk <ul style="list-style-type: none"> ・ ペアになり、将来の夢について、自分の考えや気持ちを伝え合う。 ○ Reflection <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容を振り返り、振り返りシートに記入する。 		や	や	<p>◎自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、将来の夢について自分の考えや気持ちを伝え合っている。 〈行動観察・動画記録分析・振り返りシート記述点検〉</p> <p>◎自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、将来の夢について自分の考えや気持ちを伝え合おうとしている。 〈行動観察・動画記録分析・振り返りシート記述点検〉</p>

6	<p>◆将来の夢について自分の考えや気持ちを伝え合う。</p> <p>○Greeting</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶, 調子, 天気, 曜日, 日にちを確認する。 <p>○【Let's chant】 p98</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを練習する。 「I want to be a zookeeper.」 <p>○Let's talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時とは違うペアになり, 将来の夢について自分の考えや気持ちを伝え合う。 <p>○Let's write</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちとのやり取りをもとに, 将来の夢について, 自分の考えや気持ちを書く。 		や	や	<p>◎自分のことをよく知ってもらったり, 相手のことをよく知ったりするために, 将来の夢について自分の考えや気持ちを伝え合っている。</p> <p>〈行動観察・動画記録分析・振り返りシート 記述点検〉</p> <p>◎自分のことをよく知ってもらったり, 相手のことをよく知ったりするために, 将来の夢について自分の考えや気持ちを伝え合おうとしている。</p> <p>〈行動観察・動画記録分析・振り返りシート 記述点検〉</p>
7	<p>◆アメリカの中学生と将来の夢について伝え合う。</p> <p>○Greeting</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶, 調子, 天気, 曜日, 日にちを確認する。 <p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Zoom で 蕪崎市とフェアフィールド市を繋ぎ, お互いの将来の夢を伝え合う。 <p>○Let's write</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでにやり取りしたことや第6時に作成したワークシートを参考にして, 将来の夢や就きたい職業, その理由についての紹介文を書く。 	書	や	や	<p>◎自分のことをよく知ってもらったり, 相手のことをよく知ったりするために, 将来の夢について自分の考えや気持ちを伝え合っている。</p> <p>〈行動観察・動画記録分析・振り返りシート 記述点検〉</p> <p>◎自分のことをよく知ってもらったり, 相手のことをよく知ったりするために, 将来の夢について自分の考えや気持ちを伝え合おうとしている。</p> <p>〈行動観察・動画記録分析・振り返りシート 記述点検〉</p> <p>◎将来の夢について書いている。</p> <p>〈行動観察・記述分析〉</p> <p>◎将来の夢について相手に伝わるように, 自分の考えや気持ちなどを書いている。</p> <p>〈行動観察・記述分析〉</p>

や・・・「やり取り」

[後日行うパフォーマンステスト]

・パフォーマンス課題

「新しく来た ALT に、将来の夢について自分の考えや気持ちを伝えよう」

[評価基準 (ルーブリック)] 発表

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	自分の将来の夢や就きたい職業、その理由などについて、誤りのない表現で話している。	自分の将来の夢や就きたい職業、その理由などについて、伝えようとする内容を整理しながら詳しく話している。	自分のことを相手に伝えるために、相手のことを十分考えて話したり、聞いたりして、伝え合おうとしている。
b	自分の将来の夢や就きたい職業、その理由などについて、誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度に話している。	自分の将来の夢や就きたい職業、その理由などについて、話している。	自分のことを相手に伝えるために、相手のことを考えて話したり、聞いたりして、伝え合おうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

[想定されるパフォーマンス] 思考・判断・表現 b

A: What do you want to be?

S: I want to be a vet.

A: Oh, you want to be a vet. Why?

S: I like animals. Do you like animals?

A: Yes, I do. I like rabbits.

S: Me, too. I like dogs, too.

S: So, I want to be a vet.

A: I see. You can be a great vet for sure. Good luck.

S: Thank you. I'll do my best.

8 本時の学習

(1) 日時 令和4年11月15日(火)

(2) 場所 蕪崎市立蕪崎小学校 体育館

(3) 目標

○将来の夢について、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。

(4) 展開例

時間	児童の活動	指導者の活動	指導上の留意点 ◎評価規準(評価方法)
1分	○Greeting ・挨拶をする。 ・天気、曜日、日にちの問いに答える。	・全体に挨拶し、天気、曜日、日にちについて質問する。	電子黒板
10分	○Small Talk ・週末したいことについて、JTEとALTの会話を聞いた後、指導者の問いに答え、ペアトークをする。 「What do you want to do on the weekend?」	・JTEとALTで週末したいことについて話す。児童に質問をしながら、児童を巻き込むように話を進めていく。 ・既習事項の「I like...」「I want to play/help/study...」「I can...」「I'm good at...」「It's ~.」などの表現を授業の始めに扱うことで、発話への抵抗感を少なくするとともに、繰り返し使用することで次の活動へとつなげる。	電子黒板 (トピック・写真)
<p>A: What do you want to do on the weekend? J: I want to play basketball. A: Oh, you want to play basketball. Why? J: I can play basketball. It's fun. A: That's nice. J: Do you like basketball? A: No, I don't. J: Oh, really? What sports do you like? A: I like swimming. I want to swim on the weekend. J: That's great. J: Anything else? What do you want to do on the weekend? A: I want to cook dinner. J: Oh, you want to cook dinner. That's cool. A: I like cooking. I want to study about cooking. J: Really? What kind of food are you good at cooking? A: Curry and rice. It's spicy. J: Wow. I want to eat your curry and rice someday.</p>			

1分	<p>○Today's goal</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてをつかむ。 ・めあてを声に出して読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Small Talk からの流れで、フェアフィールド市の中学生の写真等を見せ、本時の学習がイメージできるようにする。 ・本時のめあてを提示し児童と確認する。 	<p>めあて（掲示用） 電子黒板 （フェアフィールド市の中学生写真等）</p>
<p>アメリカの中学生と会話を楽しむために、 将来の夢について、自分の考えや気持ちを詳しく伝え合おう</p>			
30分	<p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の夢について自分の考えや気持ちをペアで伝え合う。 ・ルーズブリックに記されている評価観点と評価基準を確認し、自分の目指すべき姿をイメージする。 ・タブレット端末にやり取りの様子を記録し、事前に共有した評価基準をもとに、自己評価を行う。 ・自分の発話内容や話し方の課題点を見つけメモをとり、次のやり取りへとつなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ JTE と ALT でデモンストレーションを行い、目指すべき姿を共有する。 ・活動の流れを確認する。 ・ペアを替えて複数回会話をさせる。 ・ルーズブリックを提示し、児童と評価観点と評価基準を共有する。 ・会話の様子をタブレット端末に記録させる。 ・活動の途中で、やり取りが長く続いたり、内容に深まりがあったペアがいたら紹介し、良かったところをクラス全体に広げ、後半のやり取りがよりねらいに沿うようにする。 	<p>ルーズブリックシート 児童用タブレット端末 電子黒板 （良いやり取りの様子）</p> <p>◎自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、将来の夢について自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。 （行動観察、動画記録分析）</p> <p>◎自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、将来の夢について自分の考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。 （行動観察、動画記録分析）</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1 ペア A でのやり取り 2 中間指導①（代表ペアの良かったところを共有する） 3 ペア A で各自の自己評価（次に生かしたいこと） 4 ペア B でのやり取り 5 中間指導② （カナダと蕪崎をズームで繋ぎ、代表児童がカナダの6年生と実際にその場でやり取りを行い、良かったところを共有する） 6 ペア B で各自の自己評価 7 ペア C でのやり取り 8 ペア C で各自の自己評価（次に生かしたいこと） 			

指導者によるデモンストレーションの例

J: Let's talk about our future.

A: Sure.

J: Do you have a dream? What do you want to be?

A: I have a dream. I want to be a game creator.

J: Oh, you want to be a game creator. It's popular. Why?

A: I like video games. I want to make interesting games.

And I want to make people happy in the future.

J: Wow. By the way, What games do you like?

A: I like fighting games. I want to study about fighting games.

J: That's amazing. You are very creative.

You can be a great game creator for sure. Go for it.

A: Thank you. I'll do my best.

How about you? Do you have a dream? What do you want to be?

J: I have a dream. I want to be a pilot.

A: Oh, you want to be a pilot. It's cool. Why?

J: I like airplane. I want to go to all over the world.

So, I want to study English very hard.

A: Where do you want to go?

J: I want to go to Hawaii the most. I want to see beautiful beaches.

A: That's wonderful. You are very brave.

You can be a great pilot for sure. Good luck.

J: Thank you. I'll work hard.

児童によるやり取りの例 (bの姿)

S1: What do you want to be?

S2: I want to be a vet.

S1: Oh, you want to be a vet. Why?

S2: I like animals. Do you like animals?

S1: Yes, I do. I like rabbits.

S2: Me, too. I like dogs, too.

S2: I want to study about animals. So, I want to be a vet.

S1: I see. You can be a great vet for sure. Good luck.

S1: Thank you. I'll do my best.

S2: How about you? What do you want to be?

2 分	○Reflection ・本時の活動を振り返り、振り返りシートに記入する。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。	振り返りシート
1 分	○Greeting ・挨拶をする。	・挨拶をする。	

J:JTE A:ALT H:HRT S:Student

(5) 評価

○評価規準

・自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、将来の夢について自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。

(思考・判断・表現)

・自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、将来の夢について自分の考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。

(主体的に学習に取り組む態度)

○評価の具体

	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	自分の将来の夢について、アメリカの中学生に伝えるために詳しく質問したり、答えたりしている。	自分のことを相手に伝えるために、相手のことを十分考えて話したり、聞いたりして、伝え合おうとしている。
b	自分の将来の夢について、アメリカの中学生に伝えるために質問したり、答えたりしている。	自分のことを相手に伝えるために、相手のことを考えて話したり、聞いたりして、伝え合おうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

○想定するやり取り例

～bの姿～

S1: What do you want to be?
S2: I want to be a vet.
S1: Oh, you want to be a vet. Why?
S2: I like animals. Do you like animals?
S1: Yes, I do. I like rabbits.
S2: Me, too. I like dogs, too.
S2: I want to study about animals. So, I want to be a vet.
S1: I see. You can be a great vet for sure. Good luck.
S1: Thank you. I'll do my best.
S2: How about you? What do you want to be?

～aの姿～

S1: What do you want to be?
S2: I want to be a vet.
S1: Oh, you want to be a vet. Why?
S2: I like animals. What animals do you like?
S1: I like rabbits. It's cute. Do you have any pets?
S2: Yes, I do. I have a dog.
S2: So, I want to study about dogs. I want to help animals.
S1: I see. You can be a great vet for sure. Good luck.
S1: Thank you. I'll do my best.
S2: How about you? What do you want to be?

(6) パフォーマンス評価シート (ルーブリック)

Grade 6 Unit 8 「将来の夢について自分の考えや気持ちを伝え合おう」

パフォーマンス評価シート 「やり取り」

6年()組()番 名前()

観点	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)
3	自分の将来の夢について、 誤りのない 表現でやり取りしている。 ベア A <input type="checkbox"/> ベア B <input type="checkbox"/> ベア C <input type="checkbox"/>	自分の将来の夢について、アメリカの中学生と会話を楽しむために 詳しく 質問したり、答えたやり取りしている。 ベア A <input type="checkbox"/> ベア B <input type="checkbox"/> ベア C <input type="checkbox"/>	自分のことを相手に伝えるために、相手のことを 十分 考えて話したり、聞いたりして、伝え合おうとしている。 ベア A <input type="checkbox"/> ベア B <input type="checkbox"/> ベア C <input type="checkbox"/>
2	自分の将来の夢について、誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度にやり取りしている。 ベア A <input type="checkbox"/> ベア B <input type="checkbox"/> ベア C <input type="checkbox"/>	自分の将来の夢について、アメリカの中学生と会話を楽しむために質問したり、答えたりしている。 ベア A <input type="checkbox"/> ベア B <input type="checkbox"/> ベア C <input type="checkbox"/>	自分のことを相手に伝えるために、相手のことを考えて話したり、聞いたりして、伝え合おうとしている。 ベア A <input type="checkbox"/> ベア B <input type="checkbox"/> ベア C <input type="checkbox"/>
1	「2」を満たしていない。 ベア A <input type="checkbox"/> ベア B <input type="checkbox"/> ベア C <input type="checkbox"/>	「2」を満たしていない。 ベア A <input type="checkbox"/> ベア B <input type="checkbox"/> ベア C <input type="checkbox"/>	「2」を満たしていない。 ベア A <input type="checkbox"/> ベア B <input type="checkbox"/> ベア C <input type="checkbox"/>

ペアトークを終えて(感想や評価の理由(できていたこと・次に生かしたいこと)などを書こう)

自己評価

ベア A	
ベア C	

A・・・9点
B+・・・7～8点
B・・・6点
B-・・・4～5点
C・・・3点